

4 都心まちづくりの重点的な取組

4-1 重点的取組の考え方

重点的取組

将来像を実現する上で重要となる取組を「重点的取組」として位置づけ、展開していきます。

- 4(骨格軸)-1(展開軸)-3(交流拠点)の骨格構造の実現
- 地下空間の拡充と活用
- 交流空間の形成
- 界わい空間の創出

重点地区

新たな都心の魅力創出に向け、重点的にまちづくりを進める地区を、都心まちづくりの「重点地区」として定め、先導的な取組を推進します。

- 創成川以東地区を「重点地区」として位置づけ、創成川以西とは異なった新たな都心の魅力を創出するなど、相互連携・補完を図りながら、都心全体が一体となった発展を目指します。



4-2 都心まちづくりの重点的取組

1 4 (骨格軸) - 1 (展開軸) - 3 (交流拠点) の骨格構造の実現

北三条通の強化

空間形成の目標

通りの歴史性を継承しながら、みどりのある美しい景観を形成することで、北海道庁日本庁舎(赤レンガ庁舎)を基点とし、都心の魅力を東方面へ波及させる軸として、骨格軸にふさわしい街並みを形成します。

「北三条広場」から連続するみどり豊かな道路空間の形成

- ・通りの特徴であるイチョウ並木の育成と、植樹帯などの整備による、みどりの軸線の強化
- ・「北三条広場」の整備を通じた、象徴的な街並みの形成

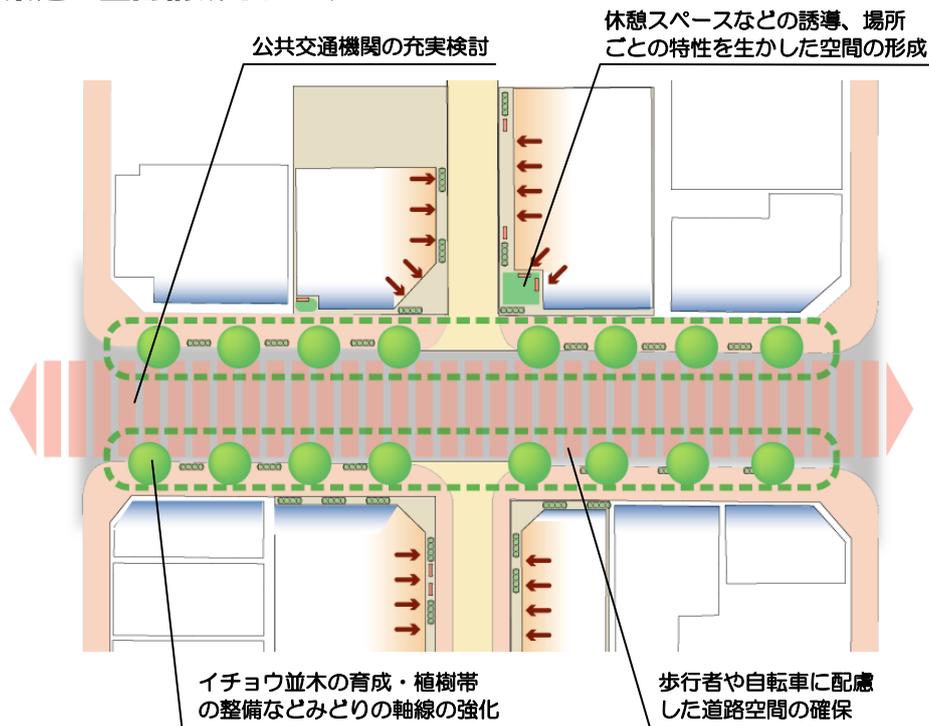
東西市街地を結ぶ回遊機能の向上

- ・公共交通機関の充実検討
- ・歩行者や自転車に配慮した道路空間の確保
- ・身近な休憩スペースの確保

地域資源を生かした魅力ある空間の形成

- ・歴史性を感じる資源の有効活用
- ・特徴的な建物やみどりなど、場所ごとの特性を生かした空間の形成

■北三条通の空間構成イメージ



東四丁目線の強化

空間形成の目標

創成川以東地区における、市民や来街者の回遊・交流を生み出す魅力的な街並みの形成を進め、人を中心としたまちづくりを促進します。

北三条通、大通の2つの東西方向の骨格軸との連携により、東西市街地の結びつきを強め、都心全体の回遊性の向上を図ります。

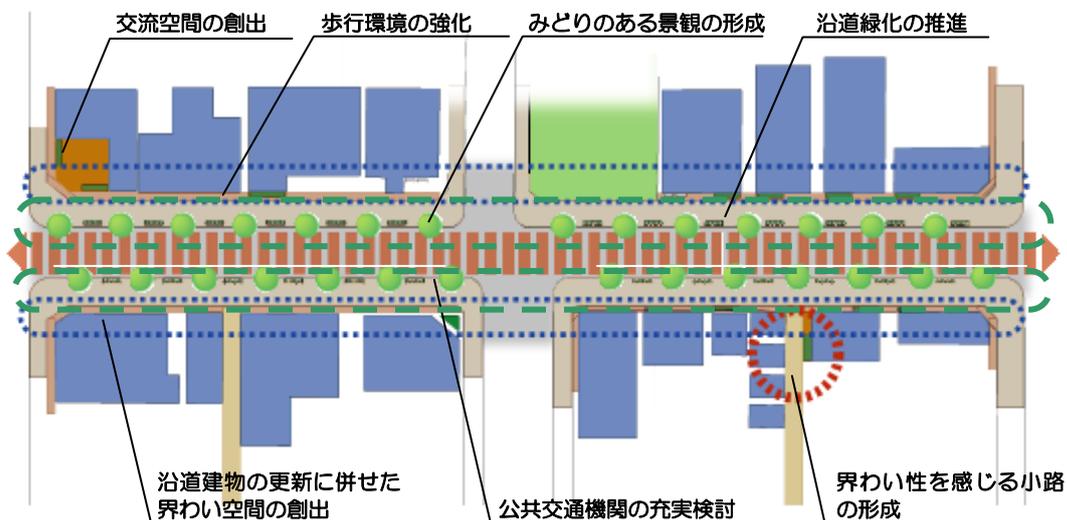
創成川以東地区の回遊性を支える通りの形成

- ・歩行環境の強化
- ・みどりのある景観の形成
- ・公共交通機関の充実検討

界わい性やにぎわいを感じる通りの形成

- ・北三条通・東四丁目線交差部周辺における「交流空間」の創出
- ・沿道や周辺街区での建物更新に合わせた「界わい空間」の創出

■東四丁目線の空間構成イメージ



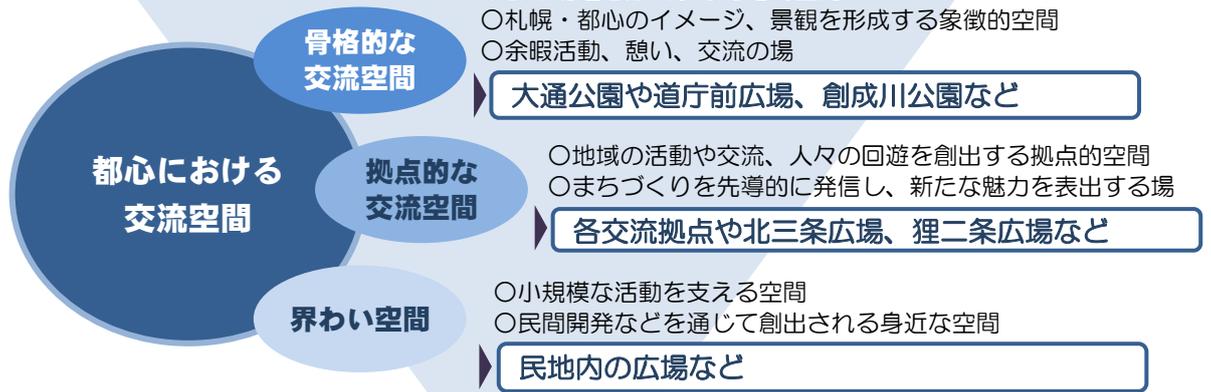
◆東四丁目線の空間構成イメージ

空間形成の
目標

市民や来街者の多様な活動を支える場として、街路や広場、公園などの公共空間（「交流空間」）の創出が重要となります。

都心に集う市民の活動や、にぎわい、交流、憩いの風景が日常的に見える街並みを創出します。

■交流空間の捉え方

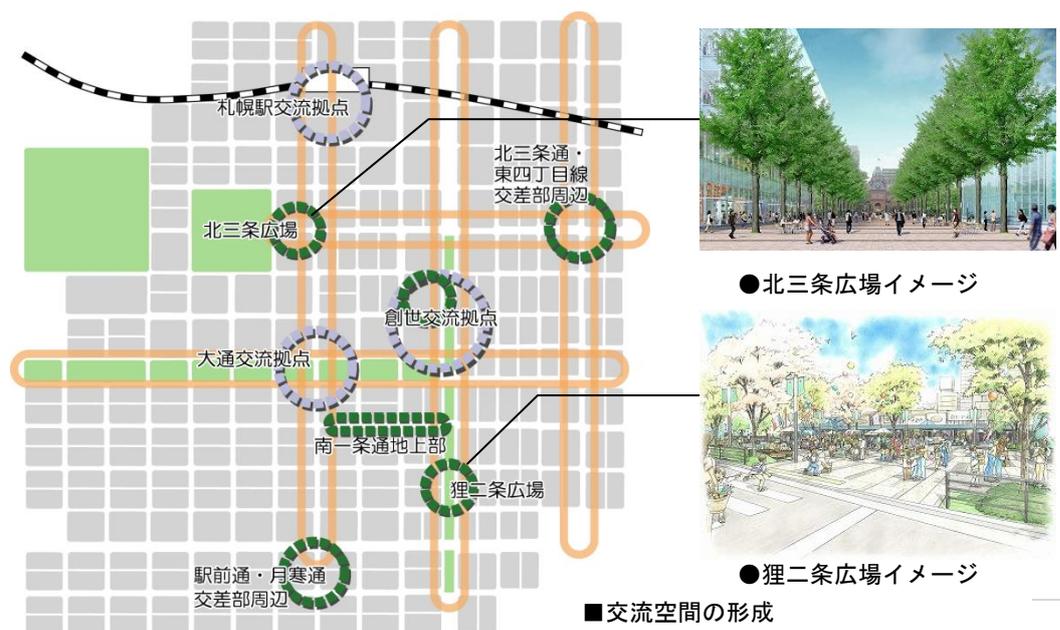
拠点的な
交流空間の
創出

■今後創出する交流空間

～札幌駅交流拠点、大通交流拠点、創世交流拠点、北三条広場、狸二条広場

■今後検討すべき交流空間

～南一条通地上部、北三条通・東四丁目線交差部周辺、駅前通・月寒通交差部周辺など



空間形成の
目標

安全で快適な地下歩行空間を拡充することで、多様性のある交流空間のネットワーク形成を図るとともに、既存空間も含めた地下空間を有効に活用することで、新たなにぎわいや回遊を生み出します。

地下空間の
拡充

■地下空間の整備

●駅前通地下歩行空間

- ・札幌駅交流拠点と大通交流拠点を結ぶ地下歩行空間を整備します。
- ・沿道ビルとの地下接続や、北二条地下広場をはじめとする空間活用など、地上地下が一体となっのにぎわいを創出します。



■地下空間の整備検討

●西二丁目地下空間

- ・札幌駅交流拠点と創世交流拠点を結ぶ西二丁目地下空間の検討を進めます。

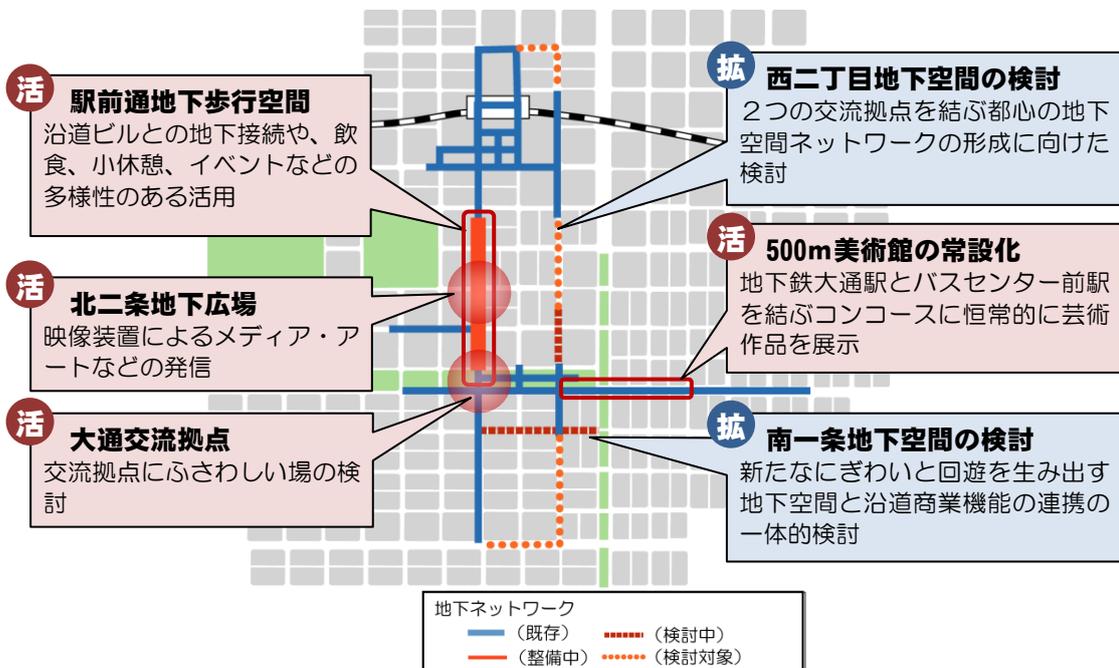
●南一条地下空間

- ・官民協働による、地上地下を含めた一体的なにぎわい空間の形成について検討を進めます。

地下空間の
活用

■活用の基本方針

- 1 活用ネットワークの形成
- 2 複合的な空間活用の推進
- 3 地上・地下の連携の促進
- 4 活用主体とスキームの確立



■地下空間の拡充と活用

4

界わい空間の創出

空間形成の目標

人を中心とした都心の空間づくりにおいては、象徴的な表通りに加え、街区内の小路の創出など、変化に富み、奥行きのある街並みの形成が重要です。

こうした象徴性と界わい性が共存し、多様性のある空間の創出が、市民や来街者にとって絶えず新たな刺激のある、魅力的な都心まちづくりを進めることにつながります。

きめ細かな空間形成には、官民の協働による取組が重要となるため、民間の都心まちづくりへの参画を促し、開発などを通じて、身近で人を中心とした「界わい空間」を創出します。

界わい空間の創出

- ・界わい空間形成のガイドラインの作成
- ・界わい空間の創出
- ・界わい空間の持続的運営・活用

■新たな界わい空間の形成に資する空間の考え方

貫通通路・パッサージュ⁴

○沿道のにぎわいの展開



広場や屋内空間

○市民活動やイベント展開
○オープンカフェ、露店などの小休憩・滞留空間



公共空間のみどりの創出

○みどり豊かな空間の創出



公共駐輪場

○街なかの安全性と良質な景観形成



歩道状空地

○歩道と一体となった歩行者空間や休憩・滞留の場



地下接続

○にぎわい機能の配置
○地上・地下の一体的活用
○地上・地下の連絡



歴史的資源の保全・活用

○歴史的資源への眺望確保
○デザインの調和等



⁴パッサージュ: フランス語で「通路」「小径」。

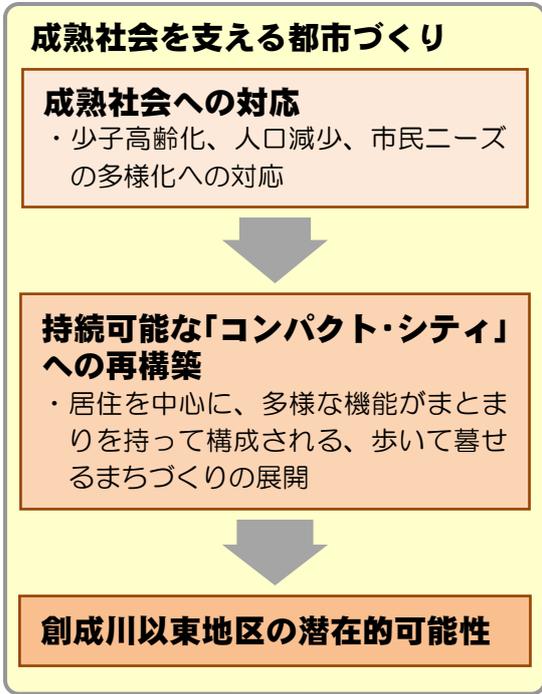
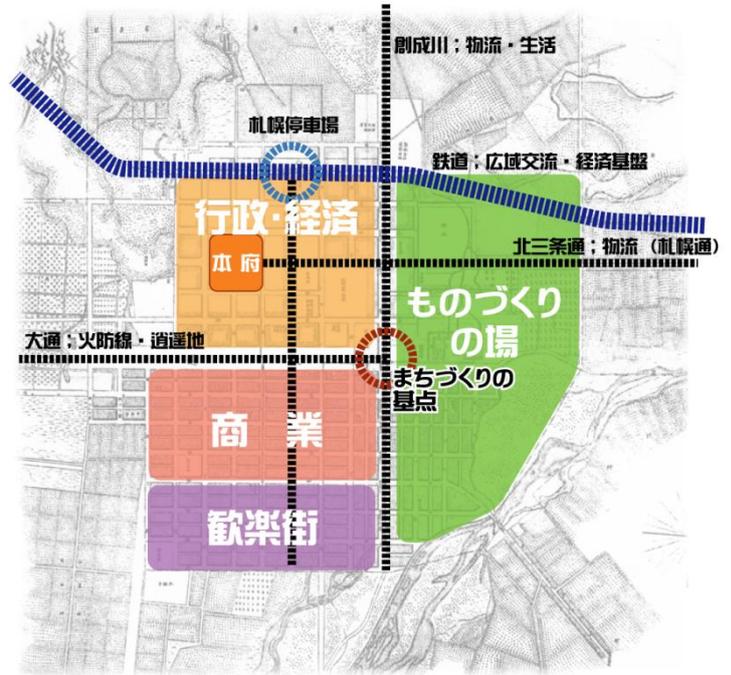
4-3

都心まちづくりの重点地区【創成川以東地区】

創成川以東地区のまちづくりの必要性

開拓以降、工業拠点として札幌の発展を支えた創成川以東地区は、都市の拡大や工業機能の郊外化といった成長期のまちづくりから立ち遅れ、土地の低未利用などの課題を抱えています。

また、成熟社会に対応し、持続可能なコンパクト・シティを実現するためには、居住人口が大幅に増加するなど、高いポテンシャルを持つ創成川以東地区において、官民が地区の将来像を共有しつつ、連携、協調して計画的なまちづくりを進めていく必要があります。



創成川以東地区を「重点地区」として位置づけ、官民が地区の将来像を共有しつつ、連携、協調して計画的なまちづくりを進めていくことが必要

「職」・「住」・「遊」近接の 歩いて暮らせる 創造性豊かなまち



誰もが都心の魅力を享受しながら快適に暮らせるまち

【多様な都市サービスが近接した歩いて暮らせるまち】

居住を中心に、店舗や施設など日常生活を支える多様な機能が徒歩圏で構成される、歩いて暮らせるまちを目指します。



【高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち】

総合病院や介護・福祉支援サービスなどの集積を生かし、高齢者や障がい者が安心して都心で暮らせる住環境の創出を目指します。



【働き盛りの世代が都心の魅力を享受しながら暮らせるまち】

働き盛りの世代の人が、都心のさまざまな魅力を享受しながら、質の高いライフスタイルを展開できるまちを目指します。

人を中心とした界わい性を感じるまち

【「歴史」と「今」が調和するまち】

地区の歴史や文化を継承しながら、古い建物の用途転換など、歴史性を感じるストックを有効に活用し、古さと新しさが調和したまちを目指します。



【良質な街並みを備えた人を中心としたまち】

快適な歩行環境や、みどりのある街並み、人々の多様な活動を支える交流空間など、人を中心とした良質な都市空間の形成を目指します。



さまざまな活動ができる創造性豊かなまち

【新規事業者の創意を生かすまち】

多様な価値観、自由な発想、チャレンジ精神を持った新規事業者の創造性を生かし、市民や来街者の多様なニーズに応え得るまちを目指します。



【創造的な活動が生まれるまち】

若い世代などが創造的な活動を行う場を目指すとともに、市民や来街者が身近に創造的な活動に触れられるまちを目指します。



【地域に関わる人が誇りや愛着を感じるまち】

まちに関わる多様な人々が自らまちづくりの担い手となり、地域の価値の向上に取り組んでいけるような、誇りや愛着を感じるまちを目指します。